

学校名	美里町立美里中学校
所在地	児玉郡美里町駒衣115-1
電話	0495-76-0379

1 本校の概要

本校は県北に位置する、学級数8(+特支2)、生徒数252名の中規模校である。美しい自然に囲まれた町で、スマートインターチェンジも開通し活気づいている。本校は町で一つの中学校であり、地域の学校教育への関心も高く学校開放日には多くの保護者や地域の方が訪れる。光をふんだんに取り入れたデザインの校舎は機能的で、校庭は各運動部の練習スペースも確保できる十分な広さを有する。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書活動の充実
- ・ 地域との連携

(2) 実践の概要

ア 朝読書の実施

月曜、水曜、金曜の登校から朝の会までの10分間を「朝読書」に設定し、準備した本を静かに読む。落ち着いて朝の時間を過ごすことが、授業に集中することにつながっている。

昨年からは、毎学期ごとに朝読書を図書室で行う取組を始めた。学期毎にクラス単位で行っている。本を探すもの、朝読書用の本を借りるもの、本を紹介しあうもの、各自が用途に合った使い方ができ、図書室の利用につながった。

イ 図書委員会の活動

図書委員会の主な活動は図書の貸し出しと図書の紹介である。図書室の開架は月・火・水・金の週4日である。本年度は「1人2冊本を借りよう」を合言葉に、活動を行っている。クラスでの呼びかけの他、2学期に生徒朝会を体育館で行い、図書室にある様々なジャンルの本を目的別に紹介した。



ウ 美里町図書館「森の図書館」との連携

委員会活動の時間を利用し、町立図書館に図書委員が行き、本を10冊選ぶ。団体貸出しの手続き後に、各教室に配架する。選書に際してはタブレットでアンケートを取ったり、朝の会で借りてほしい本を挙げるよう呼びかけたりと各クラスで工夫が見られた。図書館のスタッフからも中学生のニーズを知るきっかけになるので積極的に利用してほしいと声をかけられた。

エ 図書室の環境・整備の充実

図書室は全面ガラス張りで太陽光が十分に入り、教室2クラス分と広く快適な空間である。図書の貸し出しはバーコードで管理され、機能的である。

新刊は入口近くに配架し、生徒が手に取りやすいようにしている。本棚の上にはNDC表示を掲示し、本がどこにあるのかが一目でわかるようになっている。

図書室前は「多目的室」というホールになっている。その一角にある「進路コーナー」に学習の悩みに答える本を展示し、生徒が気軽に手に取れるようにした。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

図書委員会の活動から、図書室の利用方法や図書を広く紹介することができた。朝読書時の図書室利用は貸し出しが増えるきっかけとなった。朝読書の時間以外にも、休み時間や給食の前後など読書をする生徒も多数いる。学習マンガが人気で、リクエストも多く寄せられている。

(2) 課題

全体の貸し出し数は昨年度よりも増えている。図書委員の声掛けの成果で、昼休みに図書室を利用する生徒も増えた。しかし、本を借りるまでに至らない生徒も多い。「1人2冊本を借りよう」のキャッチフレーズが浸透し、図書室で本を借りることが日常的になるような工夫を図書委員と共に考えていきたい。